

## 第5・6 学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 5校時  
 対 象 5年生 5名 (6年生 5名)  
 指導者 沼田 玲子

1 単元名 物語の良さを解説しよう

2 教材名 「注文の多い料理店」 宮沢賢治作 (東京書籍5年)

3 単元について

(1) 児童について

観 点	実 態 等
学習活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「だいじょうぶだいじょうぶ」では語り手や登場人物の人物像を明確にし、その心情を読み取り、も読で表現することを学習した。</li> <li>・「世界でいちばんやかましい音」では、場面の展開に沿って読み、山場での変化をもとに物語が伝えるメッセージを考える学習をした。</li> </ul>
児童の読みの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章を読む学習に対し意欲的に取り組もうとする児童が多い。登場人物の人物像、相互関係や心情をとらえ、進んで自分の考えや感想を述べたりすることができる。</li> <li>・一般的な感想や例としてだされる考えにすぐ賛同してしまい、物語に深く入り込んで、自分の言葉で心情や語ったり、自分の体験と重ねて深めたりすることは難しい。</li> <li>・山場の前後の変化自体はとらえられるが、その変化が何を象徴しているのかをとらえにくい児童が1名いた。</li> <li>・NRTの物語文の読み取りでは、次のような誤答が見られた。場面の様子を読む際、文章の後半に書かれている登場人物の行動を見つけられなかった児童が4名、登場人物の理解で人物像にそぐわない答えを選んでいった児童が3名いた。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択、判断にとっても時間がかかる児童がいる。</li> <li>・友達の意見をなかなか受け入れない時があり、意見の集約に時間がかかる。</li> <li>・伝え合いの中で、相手の意見に共感することや類似点を見つけることを意識的に増やしていこうとしている状況である。</li> </ul>

(2) 単元で身につけたい力

学習指導要領との関連	<p>C読む</p> <p>(1) エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。</p> <p>オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p>
本教材の特色と活用	<p>本教材は山深いところにある「注文の多い料理店」を舞台として、二人の紳士と山猫の思惑の行き違いがユーモラスに描かれている作品である。</p> <p>「読む」授業を展開するにあたり、表現の美しさや面白さを味わえる。また、構造的であり風が吹き、そこからファンタジーの世界に入り、終末にまた風によって現実世界への入り口が開かれるという典型的なファンタジーの構造を学ぶことができる。物語から受け取ることのできるメッセージに風刺も込められていて興味深く読むことができる。次への読書意欲が喚起されるという点からも作品の良さを多面的にとらえることに適した教材であると考えられる。</p>

以上のことを踏まえ、本単元でつきたい力を次のように考えた。

◎ 場面の展開に沿って読みながら、ユーモアを生み出す優れた叙述や構造について自分の考えを持ち、まとめることができる力。

なお本単元では**作品解説書**を使って作品の読み方を交流する活動を設定する。

解説書には、表現のおもしろさの1つ目として風景や人物の行動を表現する優れた叙述、2つめとして設定のおもしろさ、そして3つめに、作品に込められたメッセージのおもしろさを書く。

この活動は指導事項の感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめることに重なり、作品の良さに多面的にせまることができると考える。

「狼森・箕森・盗森」のひみつ2設定のおもしろさ ・森や山が擬人化されている。 ・森が人間から物を盗むという発想が楽しい。	「狼森・箕森・盗森」のひみつ3(メッセージ) ・人間より先に森や山がそこに住んでいた。自然は守るものではなく、ともに生きる仲間なのだ。 ・人間から粟を盗んだ盗森だが「悪く思ふな。はっはっは。」と笑うおおらかな岩手山に自然の豊かさが表れる。	宮沢賢治作品解説書 (沼田 玲子) 「狼森・箕森・盗森」のひみつ1(表現) 美しい情景描写 ・水のようにつめたいすきとおる風 ・岩手山の銀の冠
--	---	---

### (3) 指導について

#### ①【自分の考えをもつための活動について】西中学校区視点1

- ・ 家庭学習で本文にサイドラインを引かせたり、全文視写させたりしながら文中から考えの根拠を探す部分は事前に取り組ませ、自分の考えに根拠を持って授業に臨むようにさせる。
- ・ 読み取った内容を比較するために学習シートを用いて書いたことを並べ、比較できるようにする。
- ・ 単元の最初に解説書の例を提示し、具体的なゴールを示して学習への意欲を持たせる。
- ・ 学ぶ楽しさや意欲を引き出すために、ばらばらに並べた注文を正しい位置に直す、リライトした文章と比較する等を取り入れ、一人ひとりが思考する場面を設定する。

#### ②【伝え合う活動について】西中学校区視点2

- ・ 伝え合うテーマを明確にして、伝え合いの視点がはっきりするように意識させる。
- ・ 単位時間の終末に今回の学習が解説カードを作る際にどのように生かされるのかを確認し、伝え合いを通して読みが深まることを実感させる。

## 4 単元指導計画

### (1) 単元の目標と評価

単元の目標	・場面の展開に沿って読みながら、ユーモアを生み出す優れた叙述や構造について自分の考えを持ち、まとめることができる。(1)エ ・物語に興味を持って、表現や構成の工夫を探しながら読み、友達と交流しようとしている。 ・言葉のリズムや、語や語句の使い方、表現の工夫などに気付くことができる。イ(カ)		
評価規準	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識技能
	物語に興味を持って、表現や構成の工夫を探しながら読もうとしている。	構成や文章表現の工夫、作品のメッセージから、物語のおもしろさを読み取っている。エ	言葉のリズムや、語や語句の使い方、表現の工夫などに気付く。イ(カ)

### (2) 学習計画(全1 1時間)

	時	学習内容	読み取りのための活動	主な評価規準
つ か む	1 2	宮沢賢治について知っていることを出し合う。 全文を読み賢治の作品の解説書を作ることを確認する。	作者の言いたいことは何か考えて書いてみる。	【関】意欲的に作品を読んでいこうとしている。

わかる	3	物語の構成をつかむ。	構成図をかく。	【読】 物語の全体構成をとらえている。
	4	心に残った叙述を選び、なぜそれが心に残ったのか交流し合う。	ファンタジーの入口と出口の表現を書き出す。 現実とファンタジーの部分の違いについて考えを書く。	【読】 文章表現の工夫から、物語のおもしろさを自分なりに読み取っている。 【言】 語句の使い方、表現の工夫に気付いている。
	5 6	展開部分を読み、紳士達の行動から人物像をよみとる。	中心人物の行動や考えが分かる部分を書きだす。 扉の文章と紳士達の解釈のずれを読み取る。	
	7 本時	山場を読み取り、主人公の変容があったかどうか考える。	主人公の変容があるかないかを考え、その根拠と理由を書く。	【読】 作品の構造が分かり、中心人物の変容について考えを持ち、書いている。
	8	作品から受けたメッセージ、心に残る文、言葉をさがす。	優れた表現を書き出す。	【読】 作品の表現上の特徴に気付き、自分なりにまとめている。
ふかめる	9 10	宮沢賢治作品解説書に書く内容を決めて書いて交流する。	表現について、主題について、おかしさについてなど自分の書きたいテーマを決め解説ノートを書く。	【関】 友達の書いた解説と自分の解説を比べ感想を持ち、他の賢治作品についても読もうとする意欲を持つ。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

ファンタジーの構造をとらえ、不思議な世界の前後で中心人物がどのように変わるか、自分なりの考えを持ち、書くことができる。

### (2) 評価規準と具体的評価規準

評価規準	評価方法	具体的評価規準	努力を要する児童への具体的な支援
作品の構造が分かり、中心人物の変容について考えを持ち、書いている。	学習シート 発言	場面の展開に沿って、登場人物の行動を情景や会話に着目して読み、登場人物の変容した点と変わらなかった点について自分なりにまとめている。	キーワードの部分が太字になっている学習シートを与え、手がかりとさせる。

(3) 展開

段階	学習内容	◇読み取りのための活動 ・期待される児童の反応	・指導上の留意点 《評価》	形態
導入 5分	1 本時の学習内容、活動の確認をし、本時の活動の見通しを持つ。 2 本時の場面を確認する。		・ これまでの注文の内容を確認することで本時の見通しをもたせる。	共通指導 5分
展開 30分	3 本時の課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">お話を通して紳士の変化した点、変化しなかった点を考えよう。</div>		・ 今まで学習した作品では山場での体験を通して中心人物が変容してきた。この作品の場合も変容したかどうか考えさせる。  《評価》 叙述の中から紳士の心情や人となり分かる部分を抜き書きし、そこから心情を考えることができる。	直接 15分
	4 本文から紳士の考え方や変化がわかる部分を抜き書きしたものを発表する。 5 叙述に即した結果、紳士は変わったのかどうかペアで話し合う。 6 全体で話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">紳士は内面は変わらず、外見だけが変った。</div>	◇設定部分の紳士の行動を学習シートに書き込んでいく。 ・ いばっている、動物を殺すことを楽しんでいる。 ・ 動物の命を軽んじている。 ◇結末の行動と比較する。 ・ いばっている態度は変わらない ・ 結局、山鳥を買って帰った。 ・ 顔だけがくしゃくしゃになった。		
	7 紳士の内面が変化した文章と元の文章を比較し、変化させないことでどのような作品のおもしろさにつながるか考えて自分の意見を書く。  8 ペアで自分の意見を伝え合い、作品の良さを交流する。	◇リライトした文章と、元の文章を比較し、元の文章のおもしろさを書く。 ・ すっきりみすばらしい顔になったのにまだいばっているのがおかしい。 ・ すごく怖い思いをしても人間は結局変わらないんだというのがおかしい。 ・ いばっていても本当は全然力がないうことに気付かないことが滑稽。	・ リライトした文章と比較することで作品のおもしろさやメッセージ性に気付けるよう文章が2段になったシートを準備する  《評価》 原文の方が人間の愚かな様子が伝わってくることに気付き、そのことを自分の言葉で書くことができる。 (ノート)	間接 15分
終末 10分	9 学習シートを発表する。  10 振り返りを書く。		《評価》 友達の発表を聞き、考えを深めることができたか。 (発表)	共通指導 10分

(4) 板書計画

<p>注文の多い料理店</p>	<p>課題（物語の全体を通して、紳士の変化した点と変化しなかった点を考えよう。）</p> <p>紳士の行動や会話の変化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>山猫軒での不思議な恐ろしい体験後</p></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・態度はかわっていない</li><li>・案内してくれる猟師に対していばっている</li><li>・狩りのえもののふりをして山鳥を買っている。嘘つき</li></ul> <p>しかし顔は紙のようにくしゃくしゃ</p>
<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>紳士の内面は変わっていない。しかし外見は大きく変化した。</p></div>	<p>作品のおかしさ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><ul style="list-style-type: none"><li>・顔はくしゃくしゃなのにいばっている様子のおかしさ</li><li>・すぐくこわい思いをしてもこりないおかしさ</li><li>・山猫に食べられそうになっても、山鳥を買うこっけいさ</li></ul></div>

<p>「だんなあ、だんなあ。」 と叫ぶ者があります。</p> <p>二人はもう声を出す元気もありませんでした。服をようやく身につけてぐったりと座っておりました。</p> <p>りよう師にやつとささえられてふらふらと山を下りて行きました。だんごをすすめられました。が食べる気力もなく、視線もうつろでした。</p> <p>町まで下りるといろいろなけもの肉が売っていましたが、二人ともうつむいてその店の前を足早に通り過ぎました。</p> <p>二人の紳士は、東京に戻るとすぐに猟銃を売ってしまいました。</p> <p>二人の顔は、こわさのためいっぺん紙くずのようにくしゃくしゃになったまま、東京に帰っても、お湯に入っても、もう元のとおりになりませんでした。</p> <p style="text-align: center;"><b>（比較のための文章）</b></p>
--

伝え合い交流計画シート

5年「注文の多い料理店」

交流計画シート7 / 10時間

1 話し合いのねらい

山場の前後で紳士はどう変わったか話し合うことで作品に込められたメッセージを読み取る。

2 話題

変わったか、変わらないか根拠をつけて話し合う。

3 話し合いの見通し

話し合いの順序

- ・変わったかどうか話し合う。(ペアで)
- ・なぜそう思ったのか根拠となる本文を示し、理由を発表させる。
- ・紳士の内面が本質的に変わったかどうか意見を交流し合う。(全体直接)

予想される意見・考え

- ・顔がくしゃくしゃになった。がっかりして落ち込んだ。
- ・尊大な態度は変わらない「ここだぞ、早くこい。」
- ・山鳥を買って帰るのは見栄っ張りなところが変わっていないから。
- ・食欲もある。あまりショックを受けていない。
- ・周りからは変な顔になったことで軽んじられるだろう。(今までより威厳がないと思われる。)

特 特 特 特 特 特

・外見は変わったが、人間性に変化はない。人間性にも変化があり改心したり弱気になったりする場合と比べて物語のおもしろさがどう変わるのか個別に考えさせる。

## 第 5 ・ 6 学年国語科学習指導案

日 時 平成 27 年 10 月 29 日 (木) 5 校時  
 対 象 (5 年生 5 名) 6 年生 5 名  
 指導者 沼田 玲子

- 1 単元名 感動の中心をとらえよう
- 2 教材名 「海のいのち」 立松和平作 (東京書籍 6 年)
- 3 単元について
  - (1) 児童について

観 点	実 態 等
学習活動 の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでに「サボテンの花」で登場人物の心情に着目して読み、心情や自分なりの感じ方が表れるように朗読することを学習した。</li> <li>・ 「風切るつばさ」では、中心となる登場人物についてその相互関係をとらえ、それらに基づいて心情や場面の描写をとらえる学習を行った。</li> <li>・ 優れた叙述に着目し、自分の考えをまとめるために同じ作者の書いた物語を読んだり、テーマを決めて並行読書に取り組んだりする経験も重ねている。</li> </ul>
読み取り の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「風切るつばさ」の学習では中心人物の変容について 4 名がとらえることができていた。</li> <li>・ 中心人物と対人物の関係を行動や会話、情景をもとに表にまとめることは概ねできていた。</li> <li>・ 表面に出ている叙述をそのまま読み、そこに込められた象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージなどを読み取ることを困難だと感じている児童もいる。</li> <li>・ NRT の状況では、登場人物の心情を問う問題で 5 名中 4 名が不正解の問題もあったが、4 名とも人物の心情が分からないのではなく、設問を正しくとらえる力が弱い部分がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言することに抵抗を感じている児童がいるが、伝え合いの中で不十分でも自分の考えを述べて友達の助言で深めることができるようになってきている</li> <li>・ 物語文でも論理的な思考や話し合いができるよう根拠を本文の中に探したり、キーワードをもとにして共通の話題をもとに話し合う活動を繰り返してきている。</li> </ul>

### (2) 単元で身につけたい力

学習指導 要領との 関連	<p><b>C 読む</b></p> <p>(1) エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。</p> <p>オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p>
本教材の 特色と活 用	<p>本教材の構成は中心人物「太一」の少年期から始まり、青年・壮年になるまでの生涯が 6 つの場面構成で描かれている。それぞれの場面を貫いて流れるものは中心人物「太一」の海に寄せる思いであり、成長の姿である。時間経過や人物像が明示されているため、内容がつかみやすい構成となっている。さらに主人公にかかわる人物の言動や情景描写からそれぞれの人物の生き方を想像させる叙述が多く盛り込まれた作品であり、登場人物の言葉や行動と情景描写を合わせながらより深く主人公の心情や生き方をとらえ、物語が伝えるメッセージをつかむ読み方を身に付けさせることに適した教材である。</p>

以上のことを踏まえ、本単元でつきたい力を次のように考えた。

◎ 人物の心情の変化を踏まえ、物語が伝えるメッセージをとらえることができる力

なお、本単元ではこれらの力を付けるため、**ポップ**を作り交流し合う活動を設定する。

ポップには、作品のメッセージを導き出すような課題を上段に書く。下段には作品のメッセージとなる答えを書く。その下には根拠となる記述を書く。この活動で作品が伝えるメッセージを端的にとらえることができる。

これは、指導事項の象徴性や暗示性の高い表現や作品のメッセージをとらえ、それについて自分の考えを持つことに重なる。

? 太一はなぜクエを  
殺さなかったのか?

---

すべての命は大きな自然の一部だと  
感じたから!

---

「与吉じいさ、海に帰られましたか」

(ポップ例)

(3) 指導にあたって

①【自分の考えをもたせる読み取りのための活動について】西中学校区視点1

- ・物語が伝えるメッセージを味わうために、命がテーマの作品を準備して並行読書に取り組みさせる。一つの作品を読み取りながら同時に似通ったテーマに触れるような指導を意識する。
- ・単元の最初に「ポップ」の例を提示し、具体的なゴールを示して学習への意欲を持たせる。
- ・主人公の変容の様子を会話や行動、叙述から図に表していき、山場での変容をとらえる手がかりにさせる。

②【伝えあう活動について】西中学校区視点2

- ・自分の考えとその根拠となる部分をはっきり対応させて意見を伝えられるように、学習シートに記入させる。
- ・グループの伝え合いは、リーダーを中心に話し合わせる。その後全体での伝え合いで教師が助言する。学習リーダーが見通しを持って伝え合いを進められるよう、伝え合いの流れを掲示する。

4 単元指導計画

(1) 単元の目標と評価

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめることができる。(エ)</li> <li>・登場人物の生き方に共感したり感銘を受けたりしながら最も強く語りかけてきたことを交流しようとしている。</li> <li>・文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句の関係を理解することができる。イ (オ)</li> </ul>		
評価規準	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	物語に興味を持ち、物語が自分に強く語りかけてくることを考えながら読もうとしている。	物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に隠れた心情を想像して読んでいる。(エ)	文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。イ (オ)

(2) 学習計画(全10時間)

	時	学習内容	読み取りのための活動	主な評価規準
つかむ	1 2	既習の教材で作品メッセージクイズをする。 教材文「海の命」を読み学習の見通しを持つ。	メッセージをとらえ、書く。 初発の段階でクイズを作ってみる。	【関】登場人物の生き方に関心を持ち読んでいこうとしている。



わかる	3	1の場面を読み、父の漁師としての生き方を読み取る。	父の言動を書き出し、その言動から分かる父の人物像を書く。	【読】父の人物像について会話や行動から読み取っている。
	4 5	太一の言動や父、与吉じいさの言動をつないだり、比べたりしながら、与吉じいさの生き方を読み取る。与吉じいさから学んだ太一の姿を読み取る。	与吉じいさの言動を書き出し、その言動から分かる与吉じいさの考え、人物像を書く。 太一の言動を書き出し、その言動から分かる太一の考えを書く。	【読】会話や行動、情景描写から与吉じいさの人物像を読み取っている。 【言】特徴的な表現や文章表現の美しさをみつける。 【読】太一の成長を読み取っている。
	6	母の思いを読み取る。	母の台詞を視写し、そこに表れる思いを読み取る。	【読】母の思いと太一の成長を読み取っている。
	7 本時	巨大なクエにもりをうたなかった太一の気持ちを読み取る。	山場での太一の変化をとらえ、何が太一を変化させたのかを書く。	【読】瀬の主に出会ったことによる太一の考え方の変容を読み取っている。
	8	太一の言動や与吉じいさの言動、クエの様子をつなげて読み「海の命」のテーマについて話し合う。	作品のメッセージについて考え、「海の命」のポップを完成させる。	【読】作品から受けたメッセージについて自分なりの考えを持つ。
ふかめる	9	命がテーマになっている物語を読み、そのメッセージをとらえる。	自分が読んだ作品のポップを書く。	【関】友達の発表を聞き自分のポップと比較して感想を持つ。
	10	命についての考えや心に残った場面について話し合う。	命についてどのようにとらえるか、自分の考えを書く。	【読】シリーズの本を読み命について自分なりの考えを持つ。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

太一の心情の変化から、物語が伝えるメッセージをとらえることができる。

### (2) 評価規準と具体的評価規準

評価規準	評価方法	具体的評価規準	努力を要する児童への具体的な支援
瀬の主に出会ったことによる太一の考え方の変容を読み取っている。	ワークシート 発言	クエを「おとう」「海の命」と思えた気持ちにふれ、「海の命」とはどういうことか自分の考えを書いている。	主人公の変化が現れる部分の描写をカードで与え、心情をつかませる。

(3) 展開

形態	学習内容	◇読み取りのための活動 ・期待される児童の反応	《評価》 ・指導上の留意点	段階
共通指導 5分	1 本時の学習内容、活動を確認し、本時の見通しを持つ。  2 本時の場面を確認し、課題も確認する。  なぜ、太一はクエを殺さなかったのかその理由を考えよう。		・6年生は最初の部分が間接になるので作業内容をしっかり確かめる。	導入 5分
間接 15分	3 5場面までを音読する。 4 太一はなぜクエを殺さずにすんだのか、その理由を考える。  5 クエを殺さなかった太一について自分の考えを書く。  6 発表し合う。(グループ)	◇太一の成長が分かる文章に線を引く。 ◇本文に対応させて、そこから読み取った心情をシートに書き込む。  ◇話し合って新たに分かった内容も加えて考えを書く。 ・千匹に一匹でいいんだ。 ・「与吉じいさ 海に帰りましたか。」 ・父がそうであったように、与吉じいさも海に帰っていったのだ。 ・母の悲しみさえも背負おうとしていたのである。	・5場面の中には、うつことをためらう文から「お父、ここにおられたのですか。また会いに来ますから。」の文へ変わるところに文章が二文しかない。太一の変容を大きくとらえることができるよう5場面以前も想起させる。 ・クエに会うまでに太一は心の成長をとげていた。クエはそのことを自覚するきっかけになったことを気付かせる。	展開 30分
直接 15分	7 伝え合い、考えを深める。  8 まとめ  与吉じいさの死の際感じた、海に帰るといふ思いが、命はみなつながっているという大きな思いになったから。		《評価》 太一の気持ちの変化とその理由を読み取ることができたか(学習シート)	
共通指導 10分	9 5年生の発表を聞き、感想を伝える。  10 振り返りを書く。	・異学年との交流の時間を設け、上学年は昨年も学習した物語の読み方について交流し、振り返る。	《評価》 友達の発表を聞き、物語の読み方を振り返ることができたか。(発表)	終末 10分

(4) 板書計画

<p>海の命</p>	<p>課題（なぜ太一はクエを殺さなかったか考えよう。）</p>
<p>自分の考え</p>	<p>海の命はみんなつながっていると感じたから。</p>
<p>千匹に一匹でいいんだという与吉じいさの言葉を思い出し、実感したから。必要のない漁はない。</p>	<p>クエが、お父の命をうけついでいると感じたから。</p>
<p>まとめ</p>	<p>与吉じいさの死の際感じた、海に帰るといふ思いが、命はみなつながっているという大きな思いになったから。</p>

## 伝え合い交流計画シート

6年「海の命」

交流計画シート7 / 10時間

### 1 話し合いのねらい

山場の前後で太一はどう変わったか話し合うことで作品からのメッセージをつかむ。

### 2 話題

なぜクエを殺さなかったのかその理由を考える。

### 3 話し合いの見通し

#### 話し合いの順序

- ・殺さなかった理由を自分なりの言葉でまとめ伝える。(グループ)
- ・なぜそう思ったのか根拠となる本文を示し、理由を伝え合いその理由が妥当かどうか話し合う。(グループ)
- ・再度、太一がもりをうたなかった理由を話し合い深めあう。(直接・全体)

#### 予想される意見・考え

- ・太一は父のかたきであるかもしれないクエさえも、海の命の一部だと考えた。
- ・太一は命は限りがあるもので、父はたまたま海で命を落としたがそれも運命だと達観できた。
- ・大きすぎるクエの姿に威厳や神々しさや、自然の偉大さを感じ、もりを打つことができなかった。
- ・命は一つ一つ独立したものではなく、自然の中でつながっていると実感した。

### 4 話し合いのまとめ、発展のさせ方

- ・自分なりの言葉で、命の連続性ということに触れる。ほかの作品では命をどのように扱っているかを考えていく。